

# 個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	岡山南支援学校			所在地	岡山市南区内尾721-3		
敷地面積	32,518.45 m <sup>2</sup>			棟数	23 棟 (計画記載対象 8 棟)		
延床面積	9,562.33 m <sup>2</sup>				※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	特別支援学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 6弱		津波 0.3m~1.0m未満			浸水 ー		
建築規制	市街化調整区域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気 333,137 kwh	ガス 3,240 m <sup>3</sup>	水道 6,753 m <sup>3</sup>	燃料 (灯油) 870 ㍓			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害、洪水)協定による避難場所						

## 1 施設内建物の概況

名称	教室棟(22棟)13	西棟(北棟)(1棟)1	東棟(北棟)(2棟)2
築年(西暦)	2011年	1976年	1994年
構造	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	635.35 m <sup>2</sup>	395.51 m <sup>2</sup>	348.33 m <sup>2</sup>
延床面積	1,270.69 m <sup>2</sup>	1,181.56 m <sup>2</sup>	1,001.93 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	普通教室 中高作業室	保健室 音楽室 職員室	プレイルーム 図書室 職員室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備 昇降機	空調設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	農業実習棟(10棟)10	中棟(4棟)4	南棟(5棟)5
築年(西暦)	2006年	2006年	2006年
構造	鉄筋コンクリート造 1階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	281.70 m <sup>2</sup>	941.09 m <sup>2</sup>	1,037.67 m <sup>2</sup>
延床面積	281.70 m <sup>2</sup>	1,957.19 m <sup>2</sup>	1,769.67 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	農業実習室 リサイクル室	普通教室 調理教室 多目的室	普通教室 陶芸教室 感覚訓練室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	空調設備 消火設備 昇降機(小荷物用)	空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機(小荷物用)
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	体育館(6棟)6	宿泊訓練棟(8棟)8	
築年(西暦)	2006年	2006年	
構造	鉄骨造 2階	木造 1階	
建築面積	896.51 m <sup>2</sup>	227.34 m <sup>2</sup>	
延床面積	950.62 m <sup>2</sup>	227.34 m <sup>2</sup>	
主要な用途 (室名等)	体育館	和室 食堂 浴室	
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	
利用状況	高	高	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
教室棟(22棟)13	予防保全を図る。
西棟(北棟)(1棟)1	予防保全を図る。
東棟(北棟)(2棟)2	予防保全を図る。
農業実習棟(10棟)10	予防保全を図る。
中棟(4棟)4	設備等の定期更新を行う。
南棟(5棟)5	設備等の定期更新を行う。
体育館(6棟)6	予防保全を図る。
宿泊訓練棟(8棟)8	予防保全を図る。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

1 設備等更新  
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
教室棟(22棟) 13	予防保全			予防保全を図る。							
西棟(北棟)(1棟) 1	予防保全			予防保全を図る。							
東棟(北棟)(2棟) 2	予防保全			予防保全を図る。							
農業実習棟(10棟) 10	予防保全			予防保全を図る。							
中棟(4棟)4	設備等の定期更新				昇降機改修						
南棟(5棟)5	設備等の定期更新				昇降機改修						
体育館(6棟)6	予防保全			予防保全を図る。							
宿泊訓練棟(8棟) 8	予防保全			予防保全を図る。							

#### 4. 概算費用

--